

第10回 WMH マスターズホッケーワールドカップ (2022/東京)

トレーナー活動報告書



期間：2022.10.18～10.29

会場：大井ホッケー場

報告者：河西紀秀

トレーナー：河西紀秀・柘岡智之・雨宮英巨

関係者各位

晩秋を迎え、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は格別のご厚情を賜り、心から感謝しております。

第10回 WMH マスターズホッケーワールドカップ（2022/東京）中における、トレーナー活動報告をさせていただきます。今大会には日本選手団6チーム（105名）の選手が登録され試合に挑まれた。非常に多くの選手が出場された今大会において、トレーナーが対応した選手数も延べ322件に昇った。カテゴリー別で見ると、60代（60+、65+、SOM60+）のチームでは延べ286件の対応、70代（70+、75+、SOM70+）のチームにおいては延べ36件の対応であった。特に60代選手においては、軟部組織損傷を疑う選手が非常に多く存在し、対応に苦慮する場面が少なくなかった。

大会前からのコンディショニング不足や試合後のケアやリカバリーなども十分ではなく、筋疲労を訴える選手を数多く認めた。セルフケアの指導も含め今後の課題であると感じている。又、試合中3名の選手が裂傷により、医療機関で縫合するなどの処置が加えられた。

今大会においては、日本選手団のトレーナーとして3名が帯同し、主に応急処置、テーピング、パートナーストレッチ、マッサージ、ウォーミングアップ、クールダウン、ベンチワーク、ホテル内でのケアなどを実践した。マンパワーに余裕が無い中でのトレーナー活動ではあったが、半年前からの強化合宿を共にしてきたこともあり、トレーナーチームとして、密に連携を図り、協力態勢のもと可能な限り選手対応に応ずることが出来たと感じています。

最後に大会前からお世話になった日本ホッケー協会（マスターズ部会）をはじめ、多くの大会関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

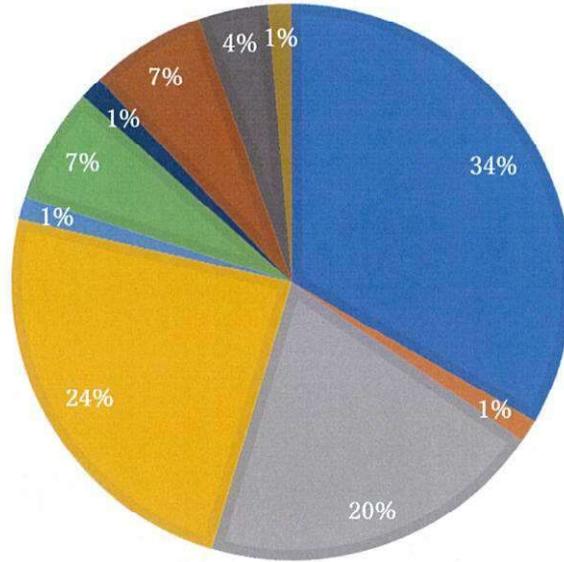
敬具

令和4年11月6日

アスレティックトレーナー 河西紀秀

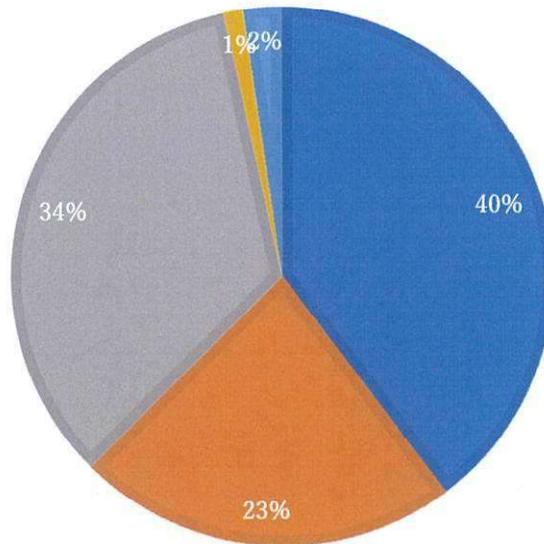
60+ 部位別,対応件数 (75件) の割合

- 大腿後面
- 大腿前面
- 下腿後面
- 腰部
- 手指
- 肩
- 頸部
- 膝関節
- 股関節
- 足底



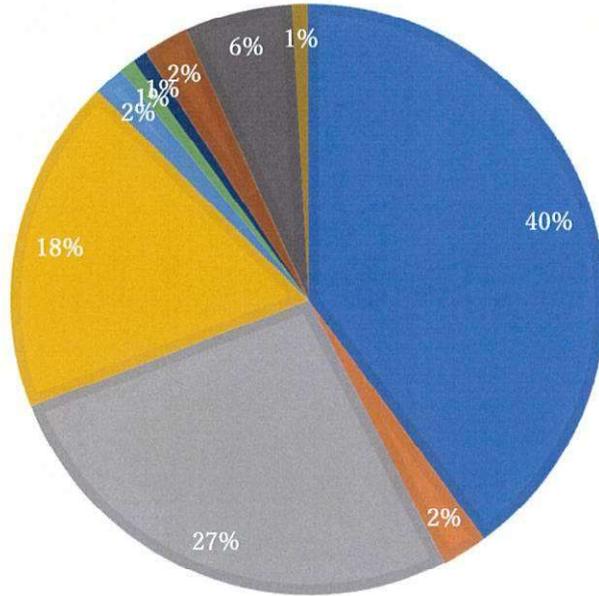
60+ 処置内容

- テーピング
- アイシング
- ストレッチ・マッサージ
- 物理療法
- 湿布処置



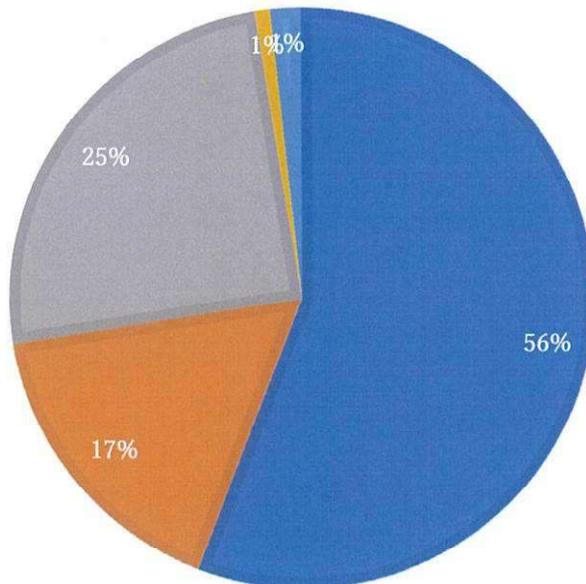
65+ 部位別,対応件数 (120件) の割合

- 大腿後面
- 大腿前面
- 下腿後面
- 腰部
- 手指
- 頸部
- 頸部
- 足関節
- 膝関節
- 額 (裂傷)



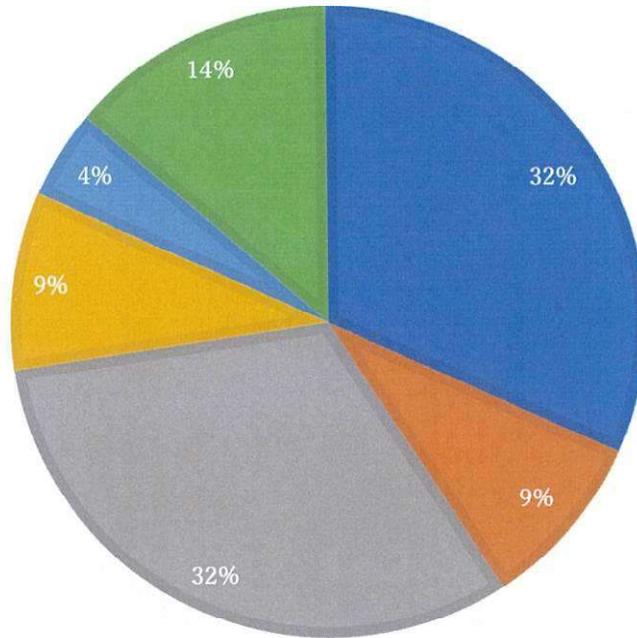
65+ 処置内容

- テーピング
- アイシング
- ストレッチ・マッサージ
- 物理療法
- 湿布処置



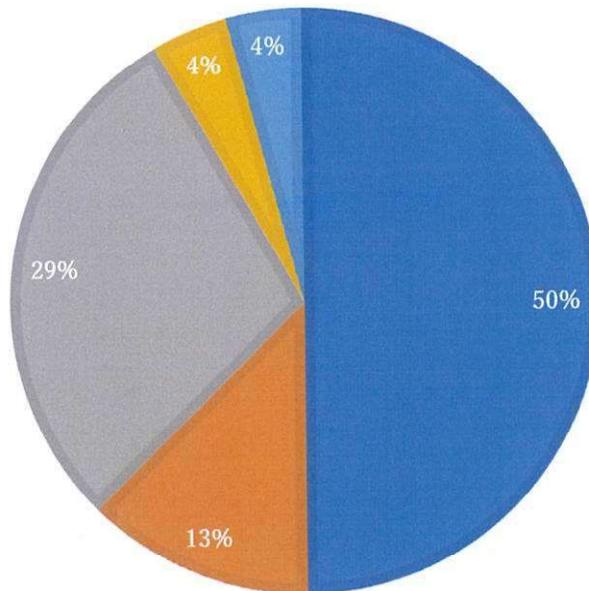
70+ 部位別,対応件数 (22件) の割合

■ 大腿後面 ■ 大腿前面 ■ 下腿後面 ■ 腰部 ■ 脛(裂傷) ■ 膝関節



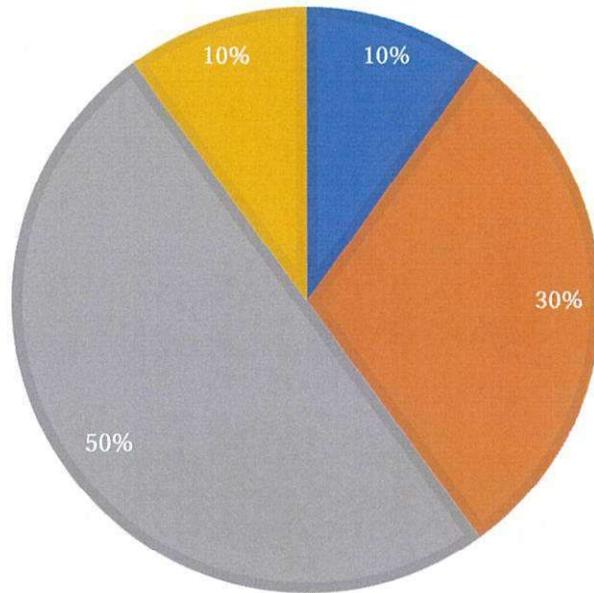
70+ 処置内容

■ テーピング ■ アイシング ■ ストレッチ・マッサージ ■ 創処置 ■ 傷害相談



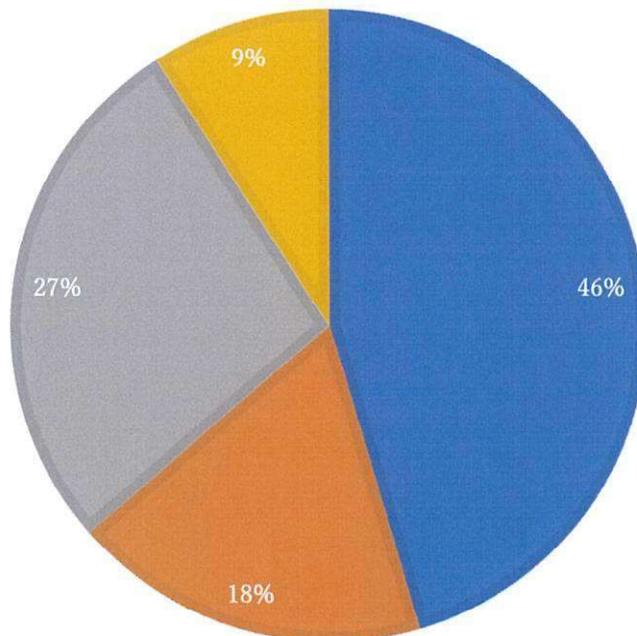
75+ 部位別,対応件数（10件）の割合

■ 大腿後面 ■ 大腿前面 ■ 下腿後面 ■ 脛（裂傷）



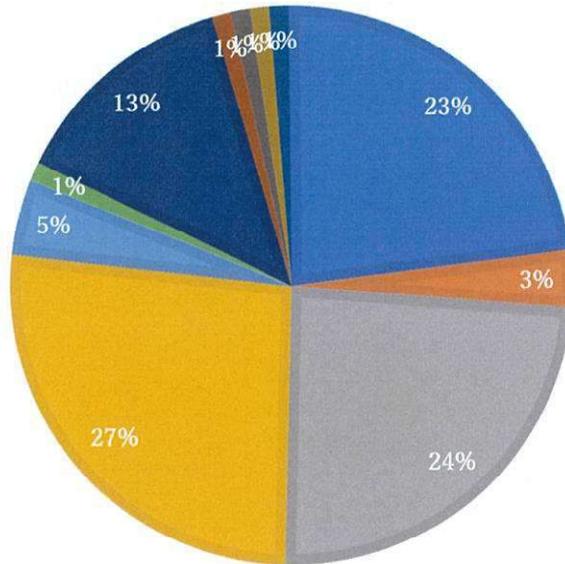
75+ 処置内容

■ テーピング ■ アイシング ■ ストレッチ・マッサージ ■ 創処置



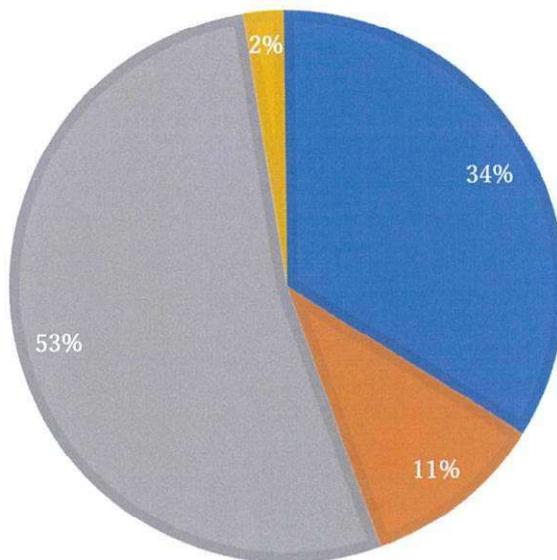
SOM60+ 部位別,対応件数 (91件) の割合

- 大腿後面
- 大腿前面
- 下腿後面
- 腰部
- 手指
- 頸部
- 膝関節
- 顎
- 鼻
- 踵
- 足趾



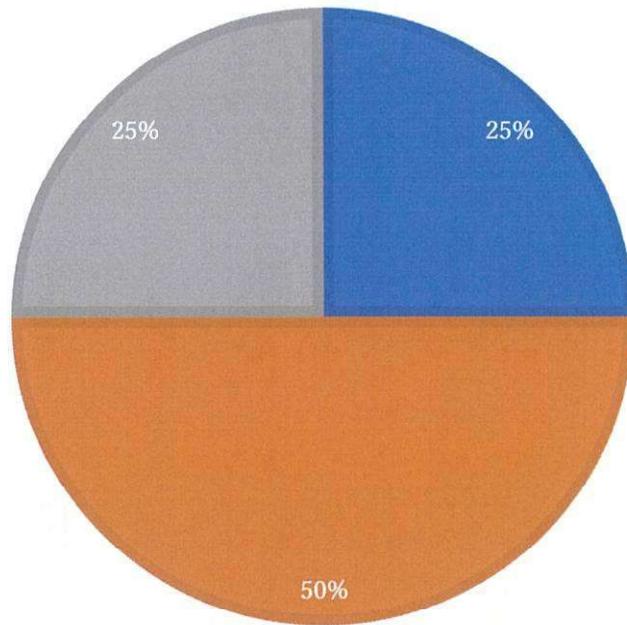
SOM60+ 処置内容

- テーピング
- アイシング
- ストレッチ・マッサージ
- 創処置



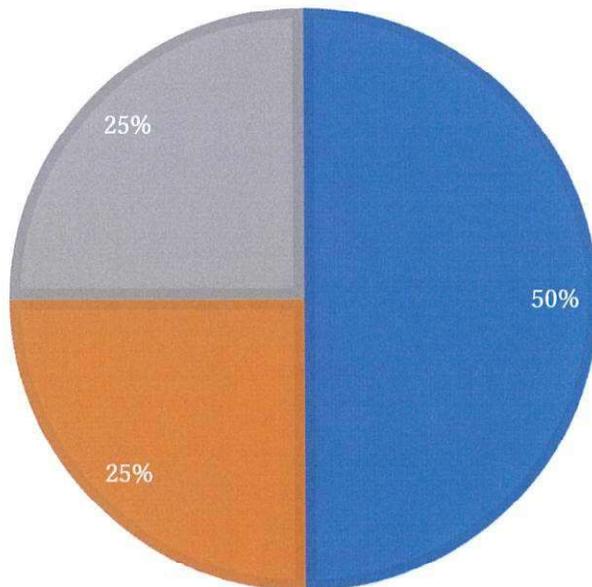
SOM70+ 部位別,対応件数（4件）の割合

■ 大腿後面 ■ 下腿後面 ■ 頭部打撲

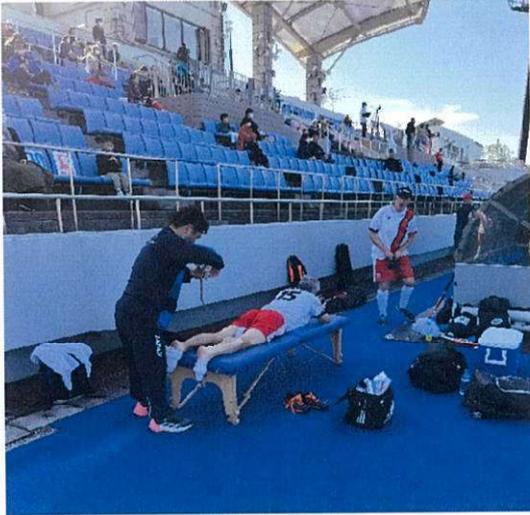


SOM70+ 処置内容

■ テーピング ■ アイシング ■ ストレッチ・マッサージ



活動風景



【テーピング】



【テーピング】



【クーリングダウン】



【アイシング】



【マッサージ】



【パートナーストレッチ】



【物理療法】